

-----12月12日-----

今週のアウトルック(12/12～12/16)

先週はECB首脳の発言に振り回される週となりました。
EU各国首脳への対応は、全体的には60%程度のできと考える向きが多いようです。結果的にはどちらへも動きづらい状況になってしまったのかもしれませんが。
今週も買い戻しの流れとリスクヘッジ、ドル不足の流れの綱引きという状況が続くように思います。

ドル円は年末のドル不足懸念から、ドル上昇圧力は強いものの、相変わらず78円台後半のレジスタンスは強そうです。リスクテイク、リスクヘッジ、どちらもトレンドが定まりずらく、当面はレンジ的な動きが続きそうです。

ドル円の予想レンジは77円から78.5円です。

ユーロは、材料出つくし感から今週は動きが読みづらくなりそうです。基本的にはトレンド材料不足のため、高値売り買い戻しの流れとなりそうですが、クリスマス休暇で薄商いなため、ちょっとした要人発言にも大きく反応しそうです。突発的な動きがストップロス巻き込んで大きく動いてしまうことも考えられますので、特に夕方から夜間の動きには注意が必要です。

ユーロ円の予想レンジは103円から105円です。

英国は今後EU諸国との関係が難しくなることも予想できます。そのあたりがポンドの動きにどう影響するかについては、判断が今のところ難しいように思います。今週はレンジ的な動きに終始するのではないかと見ています。

ポンド円の予想レンジは121円から122円です。

今週はクリスマス休暇の薄商いによる、踏み上げ、踏み落としを狙った仕掛け的な動きが入ることも予想されます。とくに大きな利用もなく一方的に動いてしまうことも考えられますので、ポジションメイクには十分な注意が必要です。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。